



平成17年度つくばマイスターフォーラム

2006

平成18年2月18日、つくば国際会議場 エポカルつくば
主　　催：筑波大学現代GP
　　「新しい課題対応型体験学習プログラムの開発」運営委員会
後　　援：つくば市、つくば市教育委員会
協　　力：NPOつくばアーバンガーデニング
　　NPO法人つくば環境フォーラム
　　NPO法人宍塚の歴史と自然の会
　　茨城県環境カウンセラー協会
　　つくば市ブルーベリー生産者協議会
　　アート・コアTSUKUBA
　　ミュージアムショップa
　　紫峰会［筑波大学学生後援会］
参加者数：約250名

平成17年度つくばマイスターフォーラムは、現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）「新しい課題対応型体験学習プログラムの開発ー地域連携によるマイスター育成講座への運営参加を通してー」の取組を、広くつくば市民に広報すると共に、市民ニーズを吸い上げ、かつ、平成18年度の受講生を募集する目的で開催した。

講演会は町田洋次氏（フリーエコノミスト）が「これからの『ひと』作り·『まち』作りー市民と大学のコラボレーションー」と題して、社会起業家について英米と日本の具体的な事例をあげながら、日本での広がりについて話題提供した。野口玲一氏（文化庁芸術文化調査官）は「芸術文化とアート·サポート」と題して、美術の支援事業や地域型のアートプロジェクトがどのような意味を持つのかについて話題提供した。筑波大学からは、金井生物資源学類長からマイスター育成講座の概要が説明され、市民からの質疑に応じた。

会場では「食と緑」、「美と芸術」の各マイスター育成講座についてコースごとに、教員が市民にコース内容の説明と質疑に対応して、コースの広報と市民ニーズのほりおこしを行った。また、筑波大学芸術専門学群教員や学生による芸術作品の展示や講座に協力するNPO団体の活動紹介、関連団体による広報が行われた。











NPO法人
つくば環境
フォーラム
「里山の存在と地域づくり」












菅生沼のすがお


フューチャー・ダイニング
